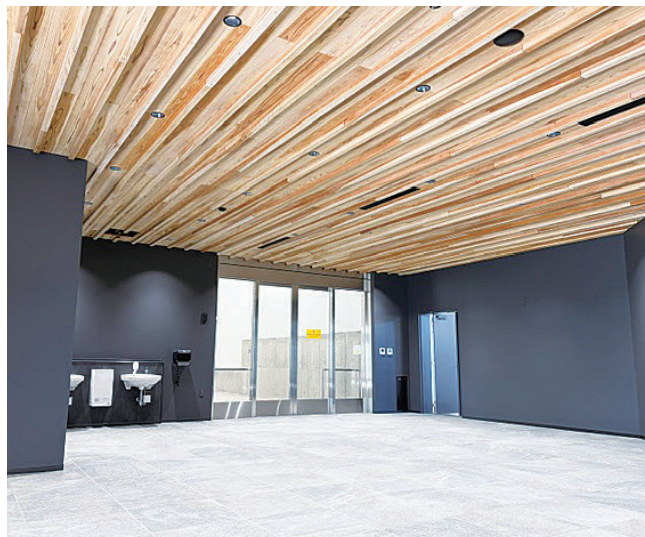


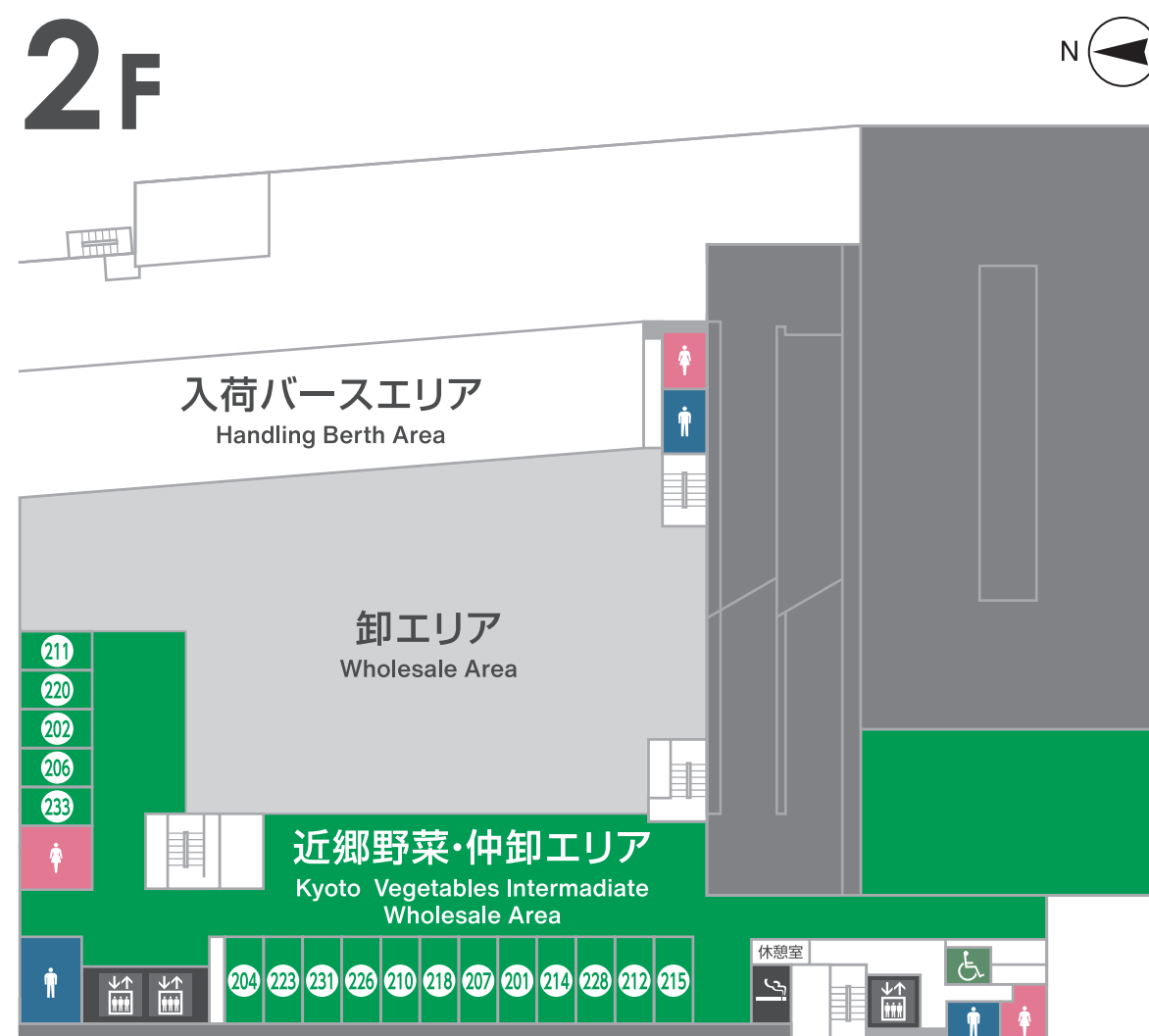
新青果棟1期エリア案内図



新青果棟(外観)



エントランスホール



京都野菜卸売協同組合 (数字は店舗番号です。)

- | | | |
|------------|----------------|-----------|
| ②01 株石芳 | ②11 マツイ青果食品(株) | ②23 株西又分店 |
| ②02 株朱喜 | ②12 有下寅商店 | ②26 株桂幸 |
| ②04 有かね北青果 | ②14 株朱伊 | ②28 有鳥羽徳 |
| ②06 株丸松商店 | ②15 株橋弥 | ②31 株鳥羽久 |
| ②07 株梅竹 | ②18 中西青果(株) | ②33 株芹熊 |
| ②10 有山七商店 | ②20 株鳥羽馬 | |

令和8年9月23日OPEN

京都市中央市場

新青果棟
1期エリア(近郷野菜部門)
竣工



はじめに

京都市中央市場は、昭和2年に日本初の中央卸売市場として開場し、永きにわたり生鮮食料品等の流通拠点としての役割を果たしてきました。

今回の整備に当たっては、徹底した温度管理が可能な施設とし、衛生基準と物流効率の飛躍的な向上を図りました。

京都市中央市場が食の信頼と京の食文化を支える役割を将来にわたって果たすため、このたび、先進的な食品流通拠点を目指して生まれ変わります。

近郷野菜の取扱い

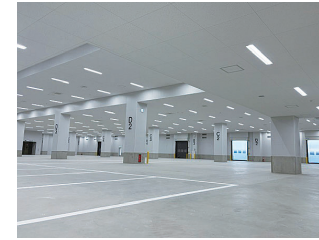
- 全国の中央卸売市場で唯一、京都府及び滋賀県産の近郷野菜を専門に扱う卸売場と仲卸業者を有しており、京野菜ブランドを支えています。



生まれ変わる 京都市中央市場

01 衛生基準の向上

- 温度管理可能な閉鎖型施設として整備し、外気の流入による温度変化を抑えるなど、食の安全・安心を確保する高度な衛生管理を実現しています。
- 施設内では、青果物を入荷から出荷まで一貫して低温管理（コールドチェーン）することにより、鮮度維持と品質向上を図っています。
- 本市場独自の衛生管理基準「京都基準」を策定・運用し、ソフト面からも高度な衛生・安全管理体制を構築しています。



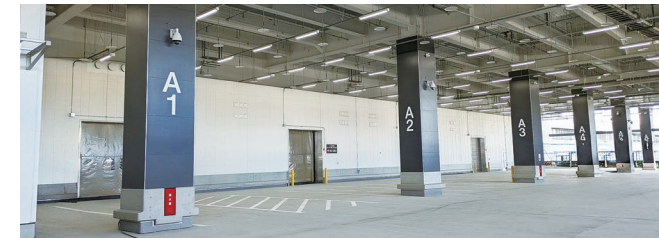
卸売場



冷蔵庫

02 物流の効率化

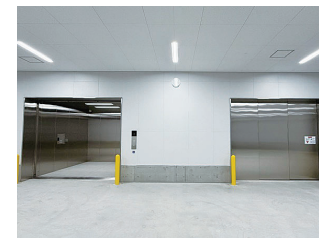
- 市場内における物流効率化のため、入荷・出荷専用の段差のないトラックバースを設けています。
- ターレットトラック（モートラ）やフォークリフトが走行可能な棟内スロープ及び荷物用エレベーターを整備し、青果物の円滑な上下階への搬送を可能としました。



トラックバース



棟内スロープ



荷物用エレベーター

03 環境への配慮 災害時の業務継続

- 太陽光発電システムの導入とともに、ビルエネルギー管理システム（BEMS）による電力利用の最適化により、環境負荷の低減と、優れた省エネルギー・省コスト性能を実現しています。
- 災害時においても物資の安定供給が可能となるよう、高い耐震性能を備えた施設としました。



太陽光パネル

新青果棟案内図



これまでの経過と今後の予定

平成27年	3月	施設整備基本計画策定
令和 3年	9月	水産棟Ⅰ期エリア竣工
令和 5年	3月	水産棟Ⅱ期エリア竣工
令和 5年	4月	水産棟見学エリア供用開始
令和 8年	1月	関連棟竣工
令和 8年	9月	新青果棟Ⅰ期エリア竣工
令和11年度		新青果棟Ⅱ期エリア竣工予定

施設概要

建築面積	10,352㎡(2期エリア完成時27,484㎡)
延床面積	32,904㎡(2期エリア完成時85,929㎡)
階数	地上5階建



京都市中央市場(京都市中央卸売市場第一市場)
〒600-8847
京都市下京区朱雀分木町80
TEL.075-311-6251 FAX.075-311-6970

発行:令和8年9月/京都市産業観光局中央卸売市場第一市場
京都市印刷物番号 第081432号